

## ポニーと森であそぼう事業

### 取組に至る背景・事業の目的

子育て支援の必要性、不登校の子どもやその家族に対する支援の場が求められる中で、森林の中でポニーと触れ合うだけでなく、ポニーの体温を感じながら自然の中で本来の子どもらしさが育つ場となり、子どもたちの心のバランスの場の一つとなる、地域の居場所としての広がり子どもたちの居場所作りを目指してきた。「馬」と「自然」の環境を活かして、一人一人の子どもがいきいきと過ごし、心豊かな子どもがたくさん育つ場になって欲しい。ここまでの活動により厚みを増していくために、多くの大人（スタッフ）に協力を仰ぐため、牧場体験プログラム（有料）の導入を考えていきたい。その先で、子どもを中心に家族や地域の大人たちも募って、多くの人たちの居場所としての活動にしたいと考えている。

### 事業内容

#### 【地域重点テーマ】

#### ① 「ポニーパーク ぽっこ」 全12回

・一人一人のペースを大切に、牧場の自然環境を活かし動物のいる場を楽しみ、ゆっくり安心して過ごせる場の提供。

（内容） 牧場体験・ポニーのお世話・馬房掃除・ポニーのふれあい・乗馬・外遊び・子育て支援・発達支援・不登校の子どもたちの居場所

#### ② 「牧場カフェ」月1回 土曜日

・牧場の自然環境を活かし動物のいる場を楽しみ、焚火でご飯作り・食育体験・野外体験の場

（内容） 牧場探検・ポニーのふれあい・ポニーの餌やり・食育体験・野外体験の場

#### ③ 「牧場ようちえん ぽっこ」

・未就学児・親子参加型・馬と動物の触れ合い・自然の中で五感が育つ活動。

（内容） 野遊び・馬のふれあい・引き馬・馬のお散歩・母の子育てワークショップ・自由表現遊び

### 事業効果

- ・自然の中で、いきいきと過ごす子どもの表情や姿がみられ、野外の時間を楽しみ、心を開放的にその子らしく過ごせる場となった。動物のいる環境に興味を持ち、地域で利用される方が増えた。
- ・参加した子どもたちは、ポニーの大きな体におっかなびっくりの様子もあったが、ポニーの愛くるしさ、優しさ、温もりを感じ、表情が柔らかくなり、自信をつけていく子どもの笑顔がたくさん見られた。
- ・不登校の子どもたちにとって、野外の環境は枠がなく過ごしやすく、ポニーの関わりやお世話の活動から経験が広がり、子どもの心と身体が育つ場・居場所となってきた。
- ・自然と動物のいる環境に興味を持つ方が増え、子育て中の大人や幅広い世代の利用者の方の広がりが見え、心を癒す場になってきた。



【ポニーのブラシがけによるふれあい】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・自然とポニーのいる環境が、子どもたちの育ちの場が継続的な場になり、利用する方々が安心して人との繋がりが広がる場にしていきたい。
- ・ポニーに心寄せる子どもたちの時間が日常の場となり、地域で育ち合える場にしていきたい。

#### 【選定のポイント】

地域の子も達が自然や動物と触れ合いながら、伸び伸び成長できる場、また、保護者間が子育ての不安を互いに解消し、交流できる場とすることが期待される。

団体名	ぽこ あ ぽっこ	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	090-3442-0178 （上村）	事業費	865,204円
		支援金額	658,000円